



物流ニッポン

発行/火曜日・金曜日 第4205号
購読料/6ヵ月30,600円(税別) ※送料別

©物流ニッポン新聞社 2019 (1969年4月1日第3種郵便物認可)

2019年(令和元年)

8 | 2

(金曜日)

URL=http://www.logistics.co.jp

株式会社 物流ニッポン新聞社

編集発行人 山田 晋

東京本社 東京都千代田区平河町1-7-20 ☎03-3221-2345

大阪本社 大阪市天王寺区堂ヶ丘1-3-24 ☎06-6779-5655

全国8支局自社ネットワークの物流総合専門紙

札幌 ☎011-756-5006 名古屋 ☎052-251-8301

仙台 ☎022-741-1723 大阪 ☎06-6779-5655

京都 ☎03-3221-2345 福岡 ☎092-474-5858

新潟 ☎025-288-5695 鳥取 ☎082-836-6866

滋賀 ☎077-422-2144 長崎 ☎050-420-1144

沖縄 ☎098-946-1888

千葉商科大学学長 原科 幸彦氏



「商いの力」必要

— 昨今は宅配市場が伸びたことで路上駐車など取り沙汰される中、不動産と連携して待機場の設置といった対策が必要という声があります。

原科 日本国土を分散利

用する場合にも物流が生かされないことは残念ですが、不動産のテクノロジーよりも物流のテクノロジーの方が遅れている感じ

ます。大型物流も不動産と連携して、
イーネー（遠藤文社長、東京都港区）の大谷巣一會長が聞いた。

はらしな・さちひこ 1946年8月生まれ。静岡県出身。75年3月東京工業大学大学院理工学研究科建築学専攻博士課程修了、4月同大学工学部社会工学科助手。マサチューセッツ工科大学客員研究員、放送大学客員教授、ロンドン大学客員教授、東京工業大学大学院総合理工学研究科研究科長を経て、2012年千葉商科大学政策情報学部及び同大学院政策研究科教授。14年政策情報学部長。17年3月から現職。

レガシー残すこと大事

州制にすればそれぞれの地域の魅力が出てくると思いりますし、しっかりと経済基盤を整えて余裕ができる、出生率が高まり、人口問題も解決できると思います。関西圏では大型施設の供給が多めあります。道

過剰供給だらうと思っていましたが、予想以上にテナントが入って空きスペースは埋まっています。

原科 不動産と物流は真

然災害が起こっても、各地域が補完し合うことがでます。今まで、京都が大きなダメージを受けた時です。一刻も早く分散型にしなければなりません。道

の複数路線は、地方に人を集めための雇用といった魅力を発信しなければなりません。道

持続可能な社会めざせ

— 原科先生は、千葉商科大学の8代目の学長で、工学博士であり、環境アセスメント研究の第一人者でもあります。千葉商大は「自然エネルギーは持続可能な開発目標」は企業の取り組みとして重要な位置付けとなっていました。現代社会では、自然環境を考慮した上で、事業展開をする中で、再生可能エネルギーを将来的のある分野として先進的な取り組みを進めている千葉商科大学長で、日本不動産学会会長である原科幸彦氏に、持続可能性に向けた施策、物流と不動産に関する見解などについて、イーネー（遠藤文社長、東京都港区）の大谷巣一會長が聞いた。

原科 2018年度の目標は、千葉商科大学が、商業系の専門分野は工学系ですが、商工は新しい領域ですが、商工は補い合う関係にあります。テクノロジーを開拓し、社会に広まらないと工学者として意味があります。この「広める」部分を担うのが商いです。

原科 こうした取り組みを社会に広めていくには、商いの力が必要です。私の専門分野は工学系で、商いが、意義のある素晴らしい取り組みだと思います。

原科 これが「RE100」を達成しました。

— CUCエネルギーといふ業界も手掛けられています。

原科 本学は、世界経済大恐慌の1年前である1929年に創立され、91年目を迎えた学校で、商業道德教育が建学の理念です。創設者の遠藤隆吉博士は当時、日本の商業道德が靡けていた状況を何とかしないために、日本を代表する企業が建学の精神。これは、確かに武士の精神。これが、

などが武士の精神。これは、じたが、理念の基礎とした

のが武士の精神。これは、なんじられていました。

三方よし 中小企業は腕と信用

イーネー会長 大谷 巖一氏



— 著書の中で「三方よし」の重要性を唱えられています。

原科 江戸時代の三方よしは、「売り手よし、買い手よし、世間よし」です。世間へのインパクトを考え

たる経済成長を成し遂げましたが、この次のステップに上げることに難しさを感じています。

大谷巣一會長が以前、不動産は社会工学の中で重要な領域と位置付けていました。例として、石原慎太郎東京都知事の時に

中小企業は腕と信用です。

—Ieyoshi Ochiai (President of ESR Co., Ltd.)

は、「いい良い商品を作つたとしても信用が無ければ企業は生きません。私が身を置く物流業界で

は、全会員世代や団塊世代の方方が世界に出ていったのです。

たる経済成長を成し遂げましたが、この次のステップに上げることに難しさを感じています。経営者が3、4代目となり、世代の方針を全くしつづけ、時代が変わるとどう経営していくかなども、大変な手探りであります。先生は以前、不動産学は社会工学の中で重要な領域と位置付けていました。例として、石原慎太郎東京都知事の時に、

東京23区のオフィス床面積が二コ一ヨーロクの2倍以上となり、巨大地震による災害リスクが極めて大きいとしていました。

大谷巣一會長が以前、不動産は腕と信用です。

一方で、中小企業は腕と信用です。

— Ieyoshi Ochiai (President of ESR Co., Ltd.)

は、「いい良い商品を作つたとしても信用が無ければ企業は生きません。私が身を置く物流業界で

は、全会員世代や団塊世代の方方が世界に出ていったのです。

たる経済成長を成し遂げましたが、この次のステ

おおたに・いわかつ
1957年生まれ。東京都出身、高千穂大学（現高千穂大学）卒、年東京倉庫運輸社、年東京倉庫運輸社に出向、物流不動産ビジネスを創始。99年アバンセロジスティック（現イーソー）設立。2014年から現職。

大谷 巖一氏
千葉商科大学学長
日本不動産学会会長
地域経済の付加価値創造会議会員

大谷の目
高い考観力で新風

かがうことができた。大変有意義な対談となりました。原科氏の深いつぶやきが聞こえてきた。原科氏は、不動産学会並びに、大学経営学部で有用な実験教育まで、非常に見識の深いお話をうながすことができた。

そして、実社会で有用な知識教育まで、非常

に見識の深いお話をうながすことができた。

大谷氏の顔を持つ原科氏。

地域経済の付加価値創造会議会員

大谷の目
高い考観力で新風